

Q：Evidenced Based Medicine (EBM)とは何ですか？

A：「証拠に基づいた医療」すなわち、最新の科学的根拠のある報告を科学的に批評・吟味して個々の患者さんに適用して行く手法です。

臨床では「この患者さんの最適な治療法は何だろう」と様々な場面で考えます。

従来は、上司・指導医・先輩医に聞いてみる、教科書・医学雑誌を読むなどして来ましたが、多くは経験に基づいただけの偏った意見や科学的根拠に乏しい論文でした。

現在では、診療ガイドラインを見る、ネット検索をしてみるなどである程度の疑問は解決するかも知れません。しかしながら、自ら科学的根拠のある報告を手に入れ、その報告が目の前の患者さんに適用できるかどうか判断して行くことが大切です。

Evidenced Based Medicine (EBM)の実施

EBM は右図にあるような手順で行います。まず目の前の患者さんの**問題点を定式化**します。例えば、『目の前の患者さんに』『A 治療を選択すると』『B 治療と比較して』『効果は期待出来るか』と定式化します。

次に『A 治療の成績の情報、B 治療の成績の情報あるいは A 治療と B 治療を比較した論文』があるかの**文献情報を収集**します。文献情報は PubMed、医中誌、論文中の文献などから収集して行きます。

収集した論文の信頼性が高いかどうかを研究デザイン、掲載雑誌、検討症例数などから**文献の批判的吟味**を行います（批判的吟味の方法の詳細は別の Q&A 参照）。そして最後に A 治療が目の前の患者さんに**適応**できるかどうかを判断します。

